

1986年(昭和61年) 11月20日 (木曜日)

石綿による 障害と規制

世界的権威、
鈴木氏が講演

きょうPLP会館で

発がん性鉱物資源の石綿(アスベスト)による健康障害がクローズ・アップされているが、石綿研究の世界的権威、鈴木康之亮・ニューヨーク市立大学マウントサイナイ環境科学研究所教授(環境病

理学)を迎えた「アスベストによる健康障害と規制」と題する公開講演会(財団法人労働安全衛生研究所主催)が二十日午後一時半から大阪市北区天神橋三の丸、PLP会館で開かれる。鈴木教授は慶大

出身、二十年前、ニューヨーク市立大に招かれ、石綿研究の第一人者、I・J・セリコフ博士の共同研究者として、石綿が原因といわれるがんの一種、中皮腫(胸・腹膜にできるしゅよう)の症例を過去十一年間で約六百例も診るなど、石綿公害の先進国(欧米)でも高い評価を受けている。今回、大阪在住の呼吸器専門医らの招きで一時帰国。名古屋市内で十七日開かれた「日



鈴木教授

本石綿シンポジウム」に参加するなか、石綿の抱えた問題を点々を専門医の立場から指摘している。
鈴木教授は講演で、米国の石綿取り扱い作業の現状などをスライドをまじえながら紹介。日本でもその危険性について関心を高めている労働者、市民らに障害の実情、規

制に至るまでの歴史などをわかりやすく説明する。
講演には、在阪の石綿研究医らも参加、鈴木教授もまじえた質疑応答もある。入場無料。
料。